# 廣福寺だより

2019年11月

## 「彼岸会・合同法要」

九月二十三日には十時半から本堂でのお勤めをさせていただきました。

十三回忌から五十回忌までのお宅にご案内をいたしましたが、七十五名程のお参りをいただき、そのうち「合同年忌法要」のお参りの方が四十三名でした。

フェーン現象の影響で暑くなりましたが、皆様の「正信偈」のお勤めが本堂に響き渡りました。

「広大会」の子どもたちも「おとき」までいっしょに参加し、法話の資料配りなどを手伝ってくれました。

子どもたちから九十歳代の方まで、ともに法要を勤めることができたことを喜んでいます。

最近は伝統のある冠婚葬祭の行事なども「時代が違う」「無駄だ」と、省略することが増えてきました。法事だけでなく通夜葬儀も例外ではありません。しかし昔から伝えられてきた、めんどうに見える行事の中に、実は大切なものが含まれているのではないでしょうか？

「人と人とのつながり」「自分まで届けられたいのちの歴史」その意味を問い直す大切な時間がそこにはあるのです。

## 秋期彼岸会 合同年忌法要

九月二十三日（月）の彼岸の中日に、秋期彼岸会、ならびに合同年忌法要が勤まりました。

昨年同様、十三回忌以降で法事があたっている方を対象にご案内を致しました彼岸会のお参りと、九月の子ども会を併せて行いましたので、総勢八十名近くの方と共に「舌々正信偈」のお勤めをし、『仏説無量寿経』の読経の際に順番に焼香して頂きました。

お勤めの後は休憩を挟み、住職が法話をしました。子ども会の児童も一緒に聴聞してくれました。

お昼より、皆さんで庫裏でのお斎となりました。大勢の方のご参加でにぎやかなお斎となりました。

### 住職法話

死にむかって
進んでいるのではない
今をもらって生きているのだ
今ゼロであって当然の私が
今生きている
ひき算から足し算の変換（以下略）

鈴木章子（すずきあやこ）さんの『変換』という詩を、合同年忌法要の法話で紹介しました。『癌告知のあとで』という本の中に収められています。

「今ゼロであって当然の私が今生きている」とは裏返せば、はるか昔の祖先から一度も途切れずにバトンタッチされてきたいのちが、奇跡的に私まで届いていることへの感動です。

当たり前のいのちから、かけがえのないいのちへの「変換」ということなのです。

## 広福寺布教大会

七月四日（木）に布教大会が行われました。本山佛光寺第六次、七次の聞法運動推進員の方々が毎年行っているもので、今年は広福寺が会場でした。

滋賀県より、仏道寺住職、竹林栄哲師、北海道より、輕臼寺住職、瀬戸川豊師、広島県より、浄土真宗本願寺派光徳寺前住職、藤田徹文先生のお三方にご布教頂きました。藤田先生は当寺住職の先生でもあります。大勢の方にご聴聞頂きまして大変ありがとうございました。

藤田　徹文先生

竹林　栄哲師

瀬戸川　豊師

## 広大会流しそうめん

八月十一日（土）に広大会の流しそうめんを行いました。毎年夏の恒例行事に、今年もたくさんの子どもたちが来てくれました。例年よりも暑い夏でしたが、子供たちの楽しそうな声が境内に響いていました。

スイカ割り！

そうめんの他にサクランボやミカン、パイナップルも流れます。

★　今後の予定　★

11/16（土）　15時
　親子ほうおんこう
12/14（土）　9時
　キャンドル作り

## サマーキャンプ２０１９

八月十九、二十日の二日間にわたり、新潟教区主催のサマーキャンプが広福寺を会場に開催され、五十七名もの児童が参加してくれました。来年はまた別の会場でおこないます。大勢の児童のご参加をお待ちしております。

# 行　事　案　内

## 報恩講（おときづき）

### 11月7日（木）

【日中】　勤行　午前10時より
法話　出雲崎　万因寺　高橋　速円師
お斎　正午

【初夜】　勤行　午後7時より

## 女性講

### 11月12日（火）

勤行　午前10時より
法話　月潟　梵行寺　木村　俊尚師

## 親子ほうおんこう・もちつき

### 11月16日（土）

勤行　午後3時より
法話　井随　法讃寺当院　雲郷　真師

発行者　広福寺　〒959-0318　新潟県西蒲原郡弥彦村麓6590　☎0256-94-2437

## ●リラックスヨガ●

日時　11/19(火)
19:30~20:30
参加費　1,000円
持ち物　ヨガマットもしくはバスタオル

今年最後の開催です。
どなたでもお気軽にお越しください

◎お仏壇（お内仏）にお参りを

①お内仏に軽く一礼する
②線香は香炉に入る大きさに折り、寝かせてくべる
③焼香を持ち上げず真横に2回行う
④お念珠を手にかけ「南無阿弥陀佛」もしくは「なまんだぶ」と称え、礼拝する
⑤お内仏に軽く一礼する